

一丁目通信

2019 年 9 月 121 号

Arts-eihan

発行: 株式会社アーツエイハン

WEB: <http://eihan.com> Mail: info@eihan.com
〒160-0022

東京都新宿区新宿1-18-13 協建新宿一丁目ビル
電話: 03-3355-1241 FAX: 03-5362-9325

実りの秋に突入し、2019 年も 4 か月あまり。
自分のやれることを全てやり尽くし、
あとは、余計なことを考えず。
「人事を尽くして天命を待つ」

代表取締役 飯塚 吉純



実りの秋に・・・

代表取締役 飯塚 吉純

短い夏はあっという間に終焉になり季節は秋。2 月が決算の当社は後半戦となり、実りの秋にするべき我武者羅に頑張るしかありません。さて、コンテンツ制作の分野は、この数年間のテクノロジーの進化と、ローコスト化は誰もが知っている事。動画元年なんて叫ばれたのは何時の事やら、Web 上のサービスは益々多様になり、動画制作のサブスクリプション化の出現、様々なコンテンツへのショートムービー動画の浸透で、動画マーケティングのあり方が変化しました。更に 2020 年の 5G の出現は、コンテンツ業界だけでなく世の中のサービスは劇的に進化していくのは間違いありません。そんな中、当社の役割も、時流の流れと共に変化しなければならない事と、変化してはいけない事があり、アナログ的でエモーショナルなサービス提供こそ、当社の変わってはいけない姿だと考えております。アナログ (Analog) とエモーショナル (Emotional) の頭文字で AE となり、即ち Arts-Eihan の略 AE と同義語なのです。



「宅録」「宅ナレ」

記事: 取締役プロデューサー 西坂 義弘



映像・動画制作時、ご予算に限りがある場合に、ナレーション収録の有無についてどうされるか悩まれることも少なく無いと思います。
そのような時、ナレーターさんや音質への過度な拘りが無い場合は、「宅録」「宅ナレ」という方法をご提案致します。
ご存知の方も多いと思いますが、簡単な収録機材をお持ちのナレーターさんが、文字どおりご自宅等にて収録する方法のことです。
いわゆる専用のスタジオを利用しない為、まずそのスタジオ分の費用が抑制できますし、ナレーターさん自体の費用も、通常のスタジオ収録時と比較して、だいたい 8 ～ 6 割くらいでご相談が可能です。また、事前にボイスサンプルをご試聴頂きますので、納得してご判断頂けると思います。
弊社でも、「宅録」「宅ナレ」の実例は増えてきております。
皆様におかれましても、機会がございましたらぜひ選択肢の 1 つとしてご検討頂ければと思います。

フィッシング詐欺にご注意ください！

記事：WEB チーム 鮎川 純一

このところ、私の社用メールに【ゆうちょ銀行】を名乗るメールアドレスから

件名：預入期間の制限はありません。自由に出し入れできます。

のメールが何度も送られてきています。

本文は画像(→)のような内容

実はこれ HTML メールで上記の URL は偽装されており

<https://www.jabank-japanpos-visv.com/>

にリンクがされています。

しかもこの内容を書いているときにはすでに閉鎖されているので、ドメインをころころと変えてフィッシング詐欺をしていると思われる。

アクセスした先も公式のゆうちょ銀行のデザインそのままでした。HTML 構造上基本的には外からすべてソースが見えてしまうため、画像なども全て使い回せば外部に別のサイトを構築できてしまいます。

そこに偽りのログインページを設定してログイン情報の入力させるのが狙いです。

登録した覚えのないアドレスに来ていた上に、メールの書き出し方が明らかに突然すぎる内容でしたので違和感しかなかったのですが、引っかかってしまう人もいるかも知れません。いろんなサービスを語ってこういった手口が可能ですので皆さまお気をつけください。



キャンプの仕事受けます！

記事：映像チーム 佐藤 豊



何年前からキャンプをはじめました。だいが流行っているのも週末はどこもキャンプ場はいっぱいだったり人気です。道具もだいが揃ってきたので山梨県の道志村や茨城県、地元では月山などちょこちょこコンスタントに行けるかなという感じになってきました。この夏に始める、始めた方もいるかも知れませんが、私の去年の体験を一つ。道志村のキャンプ場に泊まり、夜になってから雨が降り始めました。テントに入り寝かけたところで携帯の防災アプリが鳴り始め、豪雨の知らせをひっきりなしにしてくれます。正確なもので予告どおりテントを叩く凄まじい雨の音が鳴り続け明け方まで寝つけず。翌日だいがタフになって帰ってきました。雨って怖いですよ。

ナイトプールへ行ってみた

記事：WEB チーム 山室 亜耶

もう夏も終わりですが、書いてる現在はナイトプールというものが流行っています。

遊園地のプールでも、定番になってきていますね。

私も「プールに行きたいけど、日光に当たりたくない！」ということで、**東京のプリンスホテル**のナイトプールへ友人数人で行ってみました。

行ってみると、まあ予想通り、自撮りに命かけたインスタ女子しかいませんでした！

誰も泳いでないです(笑)全員自分の盛れる角度で写真を撮りまくってます。知らない人がみたら、かなり異常な光景かと思います。

最近の可愛めの若い女の子は、盛れる写真を撮っていいねの数を競い合って、戦って、大変そうだな～自分の時代にはギリギリインスタが無くて良かったな～って思いました。とはいえ久しぶりにはいるプールは楽しかったです♪

夜なので日焼け対策もしなくていい！願わくばもっと空いてるところがあればいいんですけどね～。

もし行こうと考えてる方がいたら、写真に興味がなく遊びたい人は「としまえん」等の遊園地系のプールにいくのをおすすめします！

